

令和4年12月21日

建災防大北分会 会員各位

建災防長野県支部大北分会  
分会長 郷津 順一  
(公印省略)

### 令和4年度第3回安全パトロール実施結果について

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます

日頃より、労働災害の防止について、格別なお取組みをいただき御礼申し上げます。

さて、12月16日（金）に大町労働基準監督署の指導の下、大北管内建設工事現場：6か所の安全パトロールを実施しました。

施工管理の業務は多岐に渡りますが、とくに重要といえるのは「工程管理」・「安全管理」・「品質管理」・「原価管理」です。中でも「安全管理」は、優先的に行うべき業務といってもよいでしょう。

そして、施工管理が行う「安全管理」の最大の目的といえば、労災事故を未然に防ぐことです。

その一環として行われるのが安全パトロールになるわけですが、実施することにより期待できる効果を「令和4年度第3回安全パトロール結果」で紹介しています。

現場にはあらゆる危険が潜んでおり、それらは安全パトロールを行うことで確認できます。

安全への取り組みは施工管理者として必須ですが、実際の現場に生かされなければ意味がありません。通常、現場での安全に関するルールは、新規入場者教育やその他安全教育などを通じて共有されます。

また、定期的に行われる安全会議などでも、KY活動やリスクアセスメントなどさまざまな取り組みが行われます。安全パトロールでは、これら取り組みが実際の現場に生かされているのか、確認する事が可能です。

生かされていれば、良い例として再共有することでさらに意識向上を図れます。

現場で作業する人にとっては、安全のために割く時間は工事を遅らせる原因となる場合があります。

そのため、工事を早く進めたいがあまり、安全が疎かになることも珍しくありません。

また、安全を怠り事故が発生した場合、工事どころではなくなる可能性もあります。

安全パトロールを行うことにより、現場に適度な緊張感をもたらし、安全への取り組みを行わざるをえない状況をつくれます。安全パトロールは、労働災害を未然に防ぐための取り組みです。現場の安全を確保するうえで安全パトロールは効果的です。

安全パトロールを通じ、現場に携わるすべての人が安全に対する理解を深め、そして共有することが重要になるということで、今回の安全パトロール結果を会員の皆様の参考になればと思い配布致します。

今後も会員の皆様におかれましては、関係者が一丸となって三大災害（墜落・転落災害、建設機械・クレーン等災害、倒壊・崩壊災害）の徹底した安全対策も含め、現場での自主的な安全衛生管理活動を一層推進し、安全な職場環境の形成をお願い致します。

建災防長野県支部大北分会

電話：22-0173 Fax：22-6565

E-mail：[taihoku@io.ocn.ne.jp](mailto:taihoku@io.ocn.ne.jp)